

平成 22 年度事業報告書

(平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 3 月 31 日まで)

1 会務の概況

(1) 会員数 (平成 23 年 4 月 1 日現在)

区 分	
正会員	43 団体
(地方公共団体)	(35 団体)
(関係団体)	(8 団体)
賛助会員	4 団体
計	47 団体

(2) 職員数 (平成 23 年 4 月 1 日現在)

所 属	県派遣職員	協会職員	臨時職員	計
事務局		3 名		3 名
第 1 指導班(東部)	0 (H22 年度 1)	3 名		3 名
第 2 指導班(富士)	0 (H22 年度 1)	3 名		3 名
第 3 指導班(中部)	0 (H22 年度 1)	3 名		3 名
第 4 指導班(動管センター)	0 (H22 年度 1)	3 名		3 名
静岡市愛護館			4 名	4 名
県動物管理指導センター			1 名	1 名
計	0 名	15 名	5 名	20 名

(3) 会議

ア 総会

第 40 回通常総会

平成 22 年 5 月 28 日 静岡県職員会館 (もくせい会館)

議事 a 平成 21 年度事業報告承認の件

b 平成 21 年度会計収支決算報告承認の件

c 役員補欠選任に関する承認の件

付帯決議

第 41 回通常総会

平成 23 年 2 月 28 日 静岡県男女参画センター (あざれあ)

議事 a 平成 22 年度会計収支補正予算案承認の件

b 平成 23 年度事業計画案承認の件

c 平成 23 年度会費の額及び徴収に関する件

d 平成 23 年度会計収支予算案承認の件

e 公益社団法人への移行方針承認の件

付帯決議

イ 理事会

第1回理事会

平成22年5月28日 静岡県職員会館（もくせい会館）

議事 第40回通常総会提出議案について

第2回理事会

平成23年2月28日 静岡県男女参画センター（あざれあ）

議事 a 第41回通常総会提出議案について

b 協会諸規程の一部改正について

会費規程の変更（県獣医師会会費分）、支部名の変更（浜名支部→湖西支部）

職員給与規程の変更

ウ 三役会議

第1回三役会議

平成22年5月21日 静岡県獣医畜産会館5階

議事 a 第40回総会と理事会に向けて

b 平成22年度の事業について

c 公益社団法人への移行手続きについて

第2回三役会議

平成23年1月31日 静岡県獣医畜産会館5階

議事 a 第41回総会と理事会に向けて

b 県委託事業（動物指導班業務）の変更について

c 定款の変更案について

d 公益社団法人認定申請のタイムスケジュールについて

エ 動物保護監会議

第1回動物保護監会議

平成22年5月28日 静岡県職員会館（もくせい会館）2階

議事 a 平成22年度動物保護指導業務について

b 平成22年度動物保護協会事業について

c 緊急動物保護施設について

第2回動物保護監会議

平成22年9月2日 静岡県獣医畜産会館5階

議事 a 「動物愛護フェスティバル静岡2010」について

b 成犬譲渡に関して（協会ホームページへの掲載等）

c 協会ホームページの運用について

d 小山町犬多頭飼育問題の現状について

第3回動物保護監会議

平成23年2月28日 静岡県男女参画センター（あざれあ）4階

議事 a 平成23年度動物指導班の体制について（県委託事業の変更）

- b ボランティア登録について
- c ウェブ版のポータル（新しい飼い主探し）ページの新設について

オ 支部事務局担当者会議

平成 22 年 7 月 30 日 静岡県獣医畜産会館 5 階

- 議事 a 支部事業の推進と事務手続き
- b 公益法人移行へ向けての支部会計について

2 実施事業

(1) 動物愛護思想の普及（定款第 4 条第 1 号）

ア 小・中学生動物愛護絵画・作文コンクール

子供が心豊かに育っていく上で、動物との触れ合いや飼養経験が重要と考えられる。動物愛護絵画・作文コンクールは、身近な動物との触れ合いの中で感じたことを作品化することにより、動物愛護の気持ちが更に高揚することを目的として、県下の小中学生を対象に毎年開催している。

(ア) 募集期間：平成 22 年 5 月 31 日から 9 月 6 日まで

(イ) 応募状況と入賞作品数

区 分	応募絵画数	応募作文数	合計応募数	入賞作品数
小学生	1,420 点	166 点	1,586 点	絵画： 7 点 作文： 7 点
中学生	652 点	545 点	1,197 点	絵画： 7 点 作文： 7 点
計	2,072 点	711 点	2,783 点	絵画： 14 点 作文： 14 点

(ウ) 賞別受賞者数

区 分	小学生	中学生	計
静岡県知事賞	2 名	2 名	4 名
静岡県議会議長賞	2 名	2 名	4 名
静岡県教育委員会教育長賞	2 名	2 名	4 名
静岡県市長会長賞	2 名	2 名	4 名
静岡県町村会長賞	2 名	2 名	4 名
(社) 静岡県獣医師会会長賞	2 名	2 名	4 名
(社) 静岡県動物保護協会会長賞	2 名	2 名	4 名

イ 入賞・入選作品の展示・掲載

(ア) 絵画の入賞・入選作品を「動物愛護フェスティバル静岡 2010」の会場で展示した。

(イ) コンクール入賞作品を「平成 22 年度動物愛護絵画・作文入賞作品集」として取りまとめ受賞を讃えると共に、協会ホームページへも掲載を行った。

(ウ) 絵画入賞作品は「入賞作品集」の表紙や「年賀状」に利用した。

ウ 動物保護功労者及び動物愛護功労者の表彰

動物愛護思想の普及啓発に特に功労のあった者、並びに他の模範となる動物飼養管理者の表彰を行った。

表 彰 区 分	動物保護功労者	動物愛護功労者	感 謝 状
静 岡 県 知 事 表 彰	3 名		
(社)静岡県動物保護協会会長賞	6 名	5 名	4 名

受賞者氏名（敬称略）

静岡県知事功労賞： 青木慶祐

静岡県知事褒賞： 川森武夫、彦野卓馬

(社)静岡県動物保護協会会長賞

(動物保護功労者)： 小泉伸人、落合政之、坂野文俊、沖田 基、
藤田 博、渥美美喜雄

(動物愛護功労賞)： 大草忠司、鈴木好美、服部 寛、東 勉、太田哲男

(感 謝 状)： 菅尾和子、河原崎文昭、黒田 浩、永田千秋

エ 「動物愛護フェスティバル静岡 2010」の開催

動物愛護週間行事として、「動物愛護フェスティバル静岡 2010」を開催した。

今回は地域動物愛護団体の積極的参加があった。

(ア) 実施主体： (社) 静岡県動物保護協会小笠支部

(イ) 開催期日： 平成 22 年 9 月 26 日 (日)

(ウ) 開催場所： 菊川文化会館アエル、同駐車場

(エ) スローガン： 「動物とみんなの笑顔に‘アエル’まち」

(オ) 実施内容

セレモニー ○ 動物慰霊の黙とう、挨拶、来賓祝辞等

○ 動物愛護絵画・作文の入賞者表彰

○ 動物保護功労者及び動物愛護功労者等の表彰

イベント ○ 補助犬等の模範演技 ○ 犬とダンス

○ 災害救助犬の模範演技 ○ 家庭犬しつけ実演

○ ポニーの体験乗馬と生活体験 ○ 動物総合相談

○ 動物写真・パネル展 ○ スタンプラリー

○ 動物とのふれあいコーナー（ふくろう等）

○ 動物愛護絵画コンクール入賞作品展示

○ 参加団体による、映画「犬と猫と人間と」の上映

(カ) 広報： 実施主体支部の市町でのポスター(200 枚)掲示。

小学校・幼稚園家庭へのチラシ配布(15,000 枚)、報道各社へ資料提供。

(キ) 来場者数： 5,000 人 (推定)

(ク) 関係会議等

動物愛護週間行事打合せ会（準備会）、実行委員会（3 回）、事務局会議等

オ 動物愛護教室の開催

園児、児童を対象に、動物の生態、習性を通して動物の適正飼養、危害防止等を学ぶとともに、生命を大切にす優しい心を育てることを目的に開催した。

(ア) 開催場所： 県内保育園・幼稚園・小学校等

(イ) 参加者： 80回・6,630人 資料1

カ 福祉施設での動物ふれあい訪問活動

福祉施設入居者に、動物を通して潤いと安らぎを与えることを目的に、ボランティア団体等の協力を得て実施した。

(ア) 実施場所： 県内各地の福祉施設

(イ) 参加者： 64回 4,100人（施設入居者等 3,219人、主催者881人）

(ウ) 参加動物： 588頭 資料2

キ 動物愛護相談

動物飼養に関する様々な相談に対し、アドバイスや専門分野の紹介等を行った。

協会ホームページへメールで照会して来るケースが増加している。

内容は、多頭飼育問題や虐待防止、飼い主不明猫の保護など多様である。

相談実績： 233件

ク 刊行物等の発行

「動物愛護絵画・作文」入賞作品集 1,200部作成 11月発行

ケ ホームページの開設

内容更新が容易なソフトを導入し、新しい情報の提供に努めた。新たに「成犬譲渡のページ」を設け運用を始めた。また「新しい飼い主探しのページ」を検討している。

東北地方太平洋沖地震に関しては、「緊急時動物救援本部」（事務局：動物愛護協会）への支援を呼びかけてリンクを設定した。

(2) 動物の保護及び管理に関する指導及び助言（定款第4条第2号）

ア 動物保護管理指導員活動

(社) 静岡県動物保護協会が委嘱している動物保護管理指導員が、地域を巡回し、動物の危害防止、適正な取り扱い、住民からの相談対応等の指導活動を実施した。

(ア) 管理指導員委嘱人数： 12支部 83人

(イ) 実績： 犬 8,514件

（危険防止 1,964、環境 1,917、不妊去勢 695、引取り・譲渡 163、健康 1,946、登録注射 1,379、その他 451）

ねこ 2,746件

（危険防止 340、環境 272、不妊去勢 1,003、引取り・譲渡 801、健康 279、その他 51）

その他 42件

資料3

イ 犬とねこの飼い方教室の開催

人との共生をめざして、社会性のある犬の育て方やねこの習性などの知識を学び、適正な飼養管理の普及、向上を目的として開催した。

実績： 開催 26回 受講数 884人

資料4

ウ 特別講演

「蓮華寺池公園内の所有者のいない猫対策について」

地域猫の考えで環境衛生の改善と地域住民との良好な関係構築を目指して

講師： 藤枝市環境水道部 東 和史 先生

平成 22 年 5 月 28 日(総会后) 静岡市 参加人員 50 名

(3) 不幸な動物をふやさない運動の推進(定款第 4 条第 3 号)

ア 「子犬、子ねこをゆずる会」における飼い方指導

県主催の「子犬、子ねこをゆずる会」に協調して新しい飼い主を対象に犬、ねこの生理、習性や人とともに暮らすために必要なしつけ、登録や狂犬病予防注射の実施等の飼い方指導を実施した。

実績： 動物管理指導センター 10 回 保健所 3 回

イ 「ポッチとニャンチの愛の伝言板」の設置

家庭で飼養している犬やねこ等をゆずりたい人と新しく飼いたい人との間の情報交換を行うことを目的に伝言板を設置している。

実績： 県下 25 市町、32 ヶ所に設置。

成立件数： 566 (犬 101 頭 ねこ 343 頭 その他 122) 資料 5

ウ ねこの適正管理推進モデル地区事業

市町が関与して自治会、ボランティアと協働したモデル地区を指定し、不妊・去勢と適正飼養の推進など、地域ねこ問題に取り組む事業の支援を行った。

指定モデル地区：

熱海支部(熱海市、伊東市) 東部支部(沼津市) 小笠支部(掛川市)

志太支部(藤枝市) 浜松支部 静岡支部 浜名支部(湖西市)

不妊・去勢の頭数： 333 頭

エ 静岡県被災動物救護計画等の推進

県の地震対策オペレーション 2010 分野別実践訓練に参加(7 月 16 日)

災害時用ケージの備蓄(富士：4 台 賀茂：2 台)

ボランティア名簿の整備

オ 小山町犬多頭飼育の解消に向けた取り組み

小山町の犬多頭飼育問題を解消するため平成 20 年 7 月から、静岡県、県獣医師会及びボランティアと協力して取り組み、必要な資金の寄附を募ることとした。

当協会が募金口座を管理しているが、多額の浄財が寄せられている。

寄附金総額： 3,370,025 円(含利息 250 円、平成 23 年 3 月末現在)

支出額： 2,208,877 円(環境整備、不妊処理等)

(収支決算書別添)

その他物品等の寄付： 飼料 補修用木材等

譲渡犬 33 頭(取り組み時 92 頭 残 56 頭)

(4) 動物の保護、収容業務等の受託に関する事業(定款第 4 条第 4 号)

ア 動物保護業務等受託事業

静岡県の委託を受けて、静岡県東部、富士、中部の各保健所及び動物管理指導センター

の動物保護第1、第2、第3、第4指導班は「動物の愛護及び管理に関する法律」並びに「静岡県動物の愛護及び管理に関する条例」及び「狂犬病予防法」に関する業務を実施した。

(ア) 受託業務の内容

- a 動物愛護意識の普及啓発
- b 動物愛護の普及活動
- c 愛護動物の虐待防止に関する指導及び措置
- d 犬の登録及び予防注射の督励
- e 犬の保護及び収容
- f 動物の適正管理指導
- g 犬及びねこの引き取り及び繁殖制限措置の普及指導
- h 保護した犬並びに引き取った犬及びねこの返還及び管理
- i 保健所長及び動物管理指導センター所長が必要と認めた業務

(イ) 事業担当区域

指導班名	事務所	業務地区
動物保護第1指導班	東部保健所	賀茂、熱海、東部保健所管内
動物保護第2指導班	富士保健所	御殿場、富士保健所管内
動物保護第3指導班	中部保健所	中部保健所管内
動物保護第4指導班	動物管理指導センター	西部保健所管内

(ウ) 実績

項目	第1	第2	第3	第4	計
苦情処理件数	1,397	870	1,021	275	3,563
犬(登録・注射の指導)	765	402	836	1,027	3,030
動物適正管理等指導	2,328	1,474	2,156	1,526	7,484
犬保護頭数(成・子)	215	216	60	65	556
犬譲渡頭数(成・子)	36	60	11	74	181
ねこ譲渡頭数(成・子)	10	14	119	275	418

イ 負傷動物等保護収容措置事業

静岡県及び浜松市の委託を受けて、公共の場所で負傷または疾病に罹っている所有者不明の指定動物(犬、ねこ、うさぎ、鶏、はと、あひる)の保護収容業務を実施した。

実績： 静岡県 425件 浜松市 150件 指定獣医師： 233名 資料 6

ウ 静岡県動物管理指導センター週休日管理事業

静岡県動物管理指導センターの委託を受けて、週休日における、動物舎の清掃、動物の飼養管理、動物愛護館の管理、動物ふれあい広場の管理、動物愛護事業の補助等の業務を実施した。

実績： 年間来場者数 動物愛護館 619名 動物ふれあい広場 397名

エ 静岡市動物愛護館管理事業

静岡市の委託を受けて、指定管理者として動物愛護館の施設管理、動物の飼養管理、来館者への対応、愛護館行事の開催を行った。

実績：年間来場者数 18,775 名

オ 犬猫等死体処理取扱手数料徴収事務

静岡市の委託を受けて、静岡市動物指導センターにおいて犬猫等死体処理取扱手数料の徴収に関する事務を実施した。

実績：受付件数 410 件

(5) その他目的を達成するために必要な事業（定款第4条第5号）

ア 職員の研修・会議・行事等への参加

公益法人制度改革説明会及びセミナー、同経理関係講習会、静岡県動物管理指導センター研究推進委員会、静岡市動物愛護館祭り、第47回静岡県公衆衛生研究会、環境省適正譲渡研修会、掛川市畜犬愛護会総会 等

イ 動物慰霊祭への参加

県下各地で開催された動物慰霊祭に参加し、動物の霊を慰めるとともに、各地区との連携につとめた。

開催月日	名 称	開催地
9月26日	静岡市動物慰霊祭	静岡市
10月25日	小笠支部・掛川畜犬愛護会合同慰霊祭	掛川市
2月10日	磐田支部小動物慰霊祭	磐田市
2月26日	西部動物慰霊祭	浜松市

オ 静岡県生活衛生室主催のボランティア意見交換会

開催月日	開催場所	対象保健所
10月8日	県東部総合庁舎	東部、御殿場
10月18日	県藤枝総合庁舎別館	中部
10月19日	県中遠総合庁舎	西部
10月25日	伊東市観光会館別館	賀茂、熱海
10月29日	富士総合庁舎	富士

カ 動物愛護関係事業の後援

県内で開催された動物愛護関係団体の行う事業を後援した。

(ア) 「老犬と楽しく暮らそう！～家族だからできる快適ケア

主催：(公社)日本愛玩動物協会 静岡県支部

平成22年8月22日(日) (静岡市)

(イ) 映画「犬と猫と人間と」上映会

主催：飼主のいない猫を増やさない静岡市の会

平成22年9月21日(日) (静岡市)

(ウ) ペットマナーアップ作戦

主催：(公社) 日本愛玩動物協会 静岡県支部

平成 22 年 11 月 21 日(日) (吉田町)

(エ) CAPP 訪問活動ボランティア研修会の開催

主催：(公社) 日本動物病院福祉協会

平成 23 年 1 月 16 日 (富士宮市)

(オ) ペットマナーアップ作戦

主催：(公社) 日本愛玩動物協会 静岡県支部

平成 23 年 3 月 13 日(日) (静岡市清水区)

(地震の関係で中止)